

令和4(2022)年度		年間授業計画						
教科・科目	情報	情報 I	2 単位					
対象学年・組	1 年生		必履修					
教科書 (出版社)	新編情報 I (東京書籍) 新編情報 I 資料ノート (東京書籍) 30時間でマスターOffice2019(実教出版)							
学習目標 【観点別】	情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解させるとともに、問題の発見と解決に情報及び情報技術を効果的に活用するための科学的な考え方を習得し、情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度を養う。							
学期	予定 時数	単元 具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	能	
1	前半	12	1章 情報で問題を解決する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 情報とメディアの特徴</li> <li>○ 問題解決の流れ</li> <li>○ 情報モラル</li> <li>○ 著作権</li> <li>○ 情報技術の発展</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆情報やメディアの特性を理解している</li> <li>◆身近な問題について、問題解決のプロセスに当てはめようとしている</li> <li>◆情報モラルを身に付けようとしている</li> <li>◆授業で使われる著作権の扱いについて調べようとしている</li> <li>◆身の回りの情報技術の活用場面を知ろうとしている</li> </ul>	○	○	○
	後半	12	2章 情報を伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ネットコミュニケーションの特徴</li> <li>○ 様々なデジタル表現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ネットコミュニケーションの特性を理解してメディアを活用しようとしている</li> <li>◆コンピュータによるデジタル化の方法に興味を持ち、科学的に理解しようとしている。</li> </ul>	○	○	○
2	前半	14	2章 情報を伝える	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目的に応じたデジタル化</li> <li>○ 情報デザイン</li> <li>○ ユニバーサルデザイン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆情報の圧縮方法の違いについて考えることができる</li> <li>◆情報を可視化して表現することができる</li> <li>◆ユニバーサルデザインとは何か理解している</li> </ul>	○	○	○
	後半	14	3章 コンピュータを活用する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ コンピュータとは何か</li> <li>○ ソフトウェアの仕組み</li> <li>○ アルゴリズム</li> <li>○ プログラムの基本構造</li> <li>○ モデル化とシミュレーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆コンピュータの仕組みを理解している</li> <li>◆ソフトウェアの働きを理解している</li> <li>◆アルゴリズムを理解している</li> <li>◆効率の良いプログラムを表現することができる</li> <li>◆実際の問題を解決するためにモデルを使ったシミュレーションを表現することができる</li> </ul>	○	○	○
3	18	4章 データを活用する 5章 活用して提案する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ネットワークとインターネット</li> <li>○ サーバとクライアント</li> <li>○ 情報セキュリティ</li> <li>○ データベースの活用</li> <li>○ データ分析</li> <li>○ データ利用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆インターネットの今後の利用について考えることができる</li> <li>◆サーバとクライアントの意味と役割を理解している</li> <li>◆情報セキュリティの技術について理解している</li> <li>◆データベースがどのように活用されているか理解している</li> </ul>	○	○	○	
評価の観点 (評価基準)	○情報を適切に活用するための基本的事項を確実に理解し、運用できるかを評価の観点とする。							
評価の方法	○授業内の「学習状態」、「実技テスト」及び「課題」、定期考査を基に評価する。 ○学習状態には、出席状況・授業態度・授業に対する取り組み等が含まれる。							
学習の手引き	○授業開始前に教科書・補助教材等を机上に用意し、ログインし、開始を待つ。 ○PC操作が分からない場合は両隣の人と教えあう。(他人のPC操作をしてはいけない。) ○授業で説明した大事なポイントを学習ノート等に記録し、各定期考査の範囲を早めに学習しておく。							
授業担当者	斉藤 賢							